

年 度	2022 年度（令和 4 年度）		
科 目	Java II 【実習形式】		
担 当	玄藤 一則	使用教室	34
実 務 経 験	第二種情報処理技術者試験と初級システムアドミニストレータ試験の資格を有し、高等学校教諭として現在の「基本情報技術者試験」・「IT パスポート試験」を指導してきた。		
種 別	前期 ・ レ後期 ・ 通年		
到 達 目 標	Java の基本文法の習得と実習及びオブジェクト指向プログラミングの理解		
資 格 実 施 月			
評 価 方 法	定期試験（中間試験・期末試験）70%程度、その他（実習課題、出席状況、授業態度）30%程度として、総合的に評価する。		
教 科 書 等	新・明解 Java 入門第 2 版 SBCreative		
授 業 計 画	<p>現在の情報技術社会において、広く利用されているプログラミング言語のひとつである Java の基本的な文法の習得し、その実習を通してプログラミングのより実務的な知識技能を学ぶ。</p> <p>Java II（後期） オブジェクト指向の考え方との習得と Java の実務的なプログラミング実習を行う。</p> <p>1. 第 1 週から第 9 週 IDE 統合開発環境「Eclipse」について ・ eclipse インストール実習、操作説明</p> <p>オブジェクト指向について ・ クラスの基本 ・ 単純なクラスの作成 コンストラクタ、クラス型のフィールド、クラス変数、クラスメソッド UML（クラス図）について ・ パッケージ パッケージとインポート宣言、パッケージ宣言 ・ クラスの派生と多相性 継承、多相性、継承とアクセス性 ・ 抽象クラス</p> <p>中間試験</p>		

授 業 計 画	<p>2. 第 10 週から第 16 週</p> <p>Java の応用</p> <ul style="list-style-type: none">・ 実務的な課題を基にしたプログラミング実習 (Eclipse の日本語環境である pleiades を用いて、学習成果発表会の作品作成を踏まえた、より実務的な課題を基にした Java プログラミングの作成・翻訳・デバッグ・実行、そして作成したプログラムの更新などの実習を行う。)・ 例外処理・ ファイルの操作 入力ファイルの読込、出力ファイルの書き出し <p>3. 第 17 週</p> <p>期末試験に向けた復習・演習</p> <p>※Java 言語のプログラミング実習課題 101～145 を各自の理解度に応じて、適宜取り組んでいく。</p>
---------	---